

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	新潟こども保育カレッジ
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定め る基準単位 数又は授業 時数	配置 困難
教育・社会福祉 専門課程	こども保育科	夜・ 通信	1,860 時間	160 時間	
	幼稚園教諭専攻科	夜・ 通信	616 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://nicoiku.com> - 情報公開 - シラバス (一覧表+実務経験者授業総時数表示)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	新潟こども保育カレッジ
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://nicoiku.com> - 情報公開 - 理事名簿

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学校法人（他法人）役員	R3. 1. 8 ～R7. 1. 7	コンプライアンス
非常勤	株式会社役員	R3. 1. 8 ～R7. 1. 7	コンプライアンス
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	新潟こども保育カレッジ
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の授業計画(シラバス)を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について 授業計画(シラバス)は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p> <p>(1) 授業のタイトル(科目名) (2) 授業の種類(講義、演習、実習のいずれかを記載) (3) 授業担当者 (4) 当該科目に関する実務経験 (5) 授業の回数 (6) 時間数(単位数) (7) 配当学年・時期 (8) 必修・選択(必修科目か選択科目かを記載) (9) 授業の目的・ねらい (10) 授業全体の内容の概要 (11) 授業終了時の達成課題(到達目標) (12) 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法 (13) 使用テキスト・参考文献 (14) 成績評価の方法と基準</p> <p>※作成に関する詳細 https://nicoiku.com - 情報公開 - シラバスのガイドライン なお、シラバスの公表時期は年度更新とし、新年度開始前とする。</p>	
授業計画書の公表方法	https://nicoiku.com - シラバス(一覧表+実務経験者授業総時数表示)
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポートなどの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

あらかじめ公表している授業計画(シラバス)の「成績評価の方法と基準」に基づき、各科目の学習成果を考查点150点、その他50点(日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワーク状況等)とする総合点200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。

評価は絶対評価とし、基準は以下のとおりである。

評価区分	総合点の目安	評価の意味
S	180～200点	科目における理解および日常の授業態度が著しく優秀で最上位ランクに位置する者
A	160～179点	科目に対する理解及び日常の授業態度が優秀で上位ランクに位置する者
B	140～159点	科目に対する理解及び日常の授業態度が良好で中位ランクに位置する者
C	120～139点	科目に対する理解及び日常の授業態度が劣り下位ランクに位置する者
E	120点未満	科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者及び単位が認定できない者

※成績評価基準の詳細

<https://nicoiku.com> - 情報公開 - 成績評価基準

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、下記に示す客観的な指標(GPA)を設定し、成績評価を実施している。

① GPA評定について

成績を5段階(S・A・B・C・E)で評価し、それぞれに対し4・3・2・1・0というグレードポイントを与え、各科目のグレードポイントに総授業時間数をかけた加重平均により算出する。

② (GPA算出の計算式)

$$\frac{(GPA対象科目の総時数 \times GP)の総和}{GPA対象科目の履修合計総授業時数}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法

<https://nicoiku.com> - 情報公開 - GPAと成績分布表記

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定に関する方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下の条件を満たした者に対して、卒業を認定する。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。 (2) 成績評価がすべて“C”以上であること。 (3) 学費・補助活動費がすべて納入されていること。 (4) 建学の精神から導かれる「こどもの心を理解した愛情溢れる保育士」を目指す学びを基に、専門知識と技術及び、社会人としての礼節・マナー等基礎能力が身につけた者であること。 <p><卒業認定の実施方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定基準を踏まえ、卒業認定会議（学校長・学科長・教員）を経て卒業を認定するものとする。 	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://nicoiku.com - 情報公開 - 卒業・進級条件

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	新潟こども保育カレッジ
設置者名	学校法人エイシンカレッジ

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nicoiku.com - 情報公開 - 財務諸表等 - 貸借対照表
収支計算書又は損益計算書	https://nicoiku.com - 情報公開 - 財務諸表等 - 収支計算書
財産目録	https://nicoiku.com - 情報公開 - 財務諸表等 - 財産目録
事業報告書	https://nicoiku.com - 情報公開 - 財務諸表等 - 事業報告
監事による監査報告（書）	https://nicoiku.com - 情報公開 - 財務諸表等 - 監査報告

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	こども保育科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,190 単位時間/単位	630 時間	1290 時間	240 時間	0 時間	30 時間
			2,190 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		95人	0人	7人	11人	18人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の授業計画（シラバス）を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について 授業計画（シラバス）は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p> <p>（1）授業のタイトル（科目名） （2）授業の種類（講義、演習、実習のいずれかを記載） （3）授業担当者</p>

- (4) 当該科目に関する実務経験
- (5) 授業の回数
- (6) 時間数(単位数)
- (7) 配当学年・時期
- (8) 必修・選択(必修科目か選択科目かを記載)
- (9) 授業の目的・ねらい
- (10) 授業全体の内容の概要
- (11) 授業終了時の達成課題(到達目標)
- (12) 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法
- (13) 使用テキスト・参考文献
- (14) 成績評価の方法と基準

成績評価の基準・方法

(概要)

あらかじめ公表している授業計画(シラバス)の「成績評価の方法と基準」に基づき、各科目の学習成果を考查点150点、その他50点(日常の学習態度、確認・単元テスト、出席率、ホームワーク状況等)とする総合点200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。

評価は絶対評価とし、基準は以下のとおりである。

評価区分	総合点の目安	評価の意味
S	180～200点	科目における理解および日常の授業態度が著しく優秀で最上位ランクに位置する者
A	160～179点	科目に対する理解及び日常の授業態度が優秀で上位ランクに位置する者
B	140～159点	科目に対する理解及び日常の授業態度が良好で中位ランクに位置する者
C	120～139点	科目に対する理解及び日常の授業態度が劣り下位ランクに位置する者
E	120点未満	科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者及び単位が認定できない者

卒業・進級の認定基準

(概要)

以下の条件を満たした者に対して、卒業・進級を認定する。

- (1) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。
- (2) 成績評価がすべて“C”以上であること。

<p>(3) 学費・補助活動費がすべて納入されていること。</p> <p>(4) 建学の精神から導かれる「こどもの心を理解した愛情溢れる保育士」を目指す学びを基に、専門知識と技術及び、社会人としての礼節・マナー等基礎能力が身につけた者であること。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任制の導入 ・授業時間外の個別指導 ・成績不振者への補習および保護者との連携 ・成績優秀者への奨励や表彰（ブラスニング等） ・授業アンケートの実施 ・就学機会の提供（学内奨学生制度など） ほか

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
47人 (100%)	22人 (46.8%)	23人 (48.9%)	2人 (4.3%)
(主な就職、業界等)			
認定こども園、保育園、幼稚園、児童発達支援・放課後等デイサービス 等			
(就職指導内容)			
就職授業、面接指導、履歴書作成指導、マナー指導、身だしなみ指導 等			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
保育士資格、幼稚園教諭資格、社会福祉主事任用資格 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	3人	3.1%
(中途退学の主な理由)		
体調不良、進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任との個別面談、保護者との連携、常勤カウンセラー（公認心理師）による相談支援 等		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉専門課程	幼稚園教諭専攻科	—	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	842 単位時間/単位	392 時間	290 時間	160 時間	0 時間	0 時間
		842 単位時間					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
25人	22人	0人	7人	3人	10人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>1. シラバスの作成過程について 当該年度の教育課程終了後、当年度の教育課程を振り返り授業科目の概要および各科目の教育内容に関して改善や変更の要否を検討し、次年度の授業計画(シラバス)を決定するものとする。</p> <p>2. シラバスの作成・公表時期について 授業計画(シラバス)は科目の担当教員が作成し、学生の学習到達および資格取得に資するよう以下の内容について記載することとする。</p> <p>(1) 授業のタイトル(科目名) (2) 授業の種類(講義、演習、実習のいずれかを記載) (3) 授業担当者 (4) 当該科目に関する実務経験 (5) 授業の回数 (6) 時間数(単位数) (7) 配当学年・時期 (8) 必修・選択(必修科目か選択科目かを記載) (9) 授業の目的・ねらい (10) 授業全体の内容の概要 (11) 授業終了時の達成課題(到達目標) (12) 授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法 (13) 使用テキスト・参考文献 (14) 成績評価の方法と基準</p> <p>なお、シラバスの公表時期は年度更新とし、新年度開始前とする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>あらかじめ公表している授業計画(シラバス)の「成績評価の方法と基準」に基づき、各科目の学習成果を考查点150点、その他50点(日常の学習態度、確認・单元テスト、出席率、ホームワーク状況等)とする総合点200点満点を標準に、厳格かつ適正に評価するものとする。</p> <p>評価は絶対評価とし、基準は以下のとおりである。</p>

評価区分	総合点の目安	評価の意味
S	180～200点	科目における理解および日常の授業態度が著しく優秀で最上位ランクに位置する者
A	160～179点	科目に対する理解及び日常の授業態度が優秀で上位ランクに位置する者
B	140～159点	科目に対する理解及び日常の授業態度が良好で中位ランクに位置する者
C	120～139点	科目に対する理解及び日常の授業態度が劣り下位ランクに位置する者
E	120点未満	科目に対する理解及び日常の授業態度が著しく劣る者及び単位が認定できない者

卒業・進級の認定基準

(概要)

以下の条件を満たした者に対して、卒業・進級を認定する。

- (1) 年間の出席率が総授業時間数の90%以上であること。
- (2) 成績評価がすべて“C”以上であること。
- (3) 学費・補助活動費がすべて納入されていること。
- (4) 建学の精神から導かれる「こどもの心を理解した愛情溢れる保育士」を目指す学びを基に、専門知識と技術及び、社会人としての礼節・マナー等基礎能力が身につけた者であること。

学修支援等

(概要)

学習への不安をなくし学生が自己管理の基、関連実務や資格に関する知識・技術・技能等を習得できる学修支援制度を構成する。

- ・担任制の導入
- ・授業時間外の個別指導
- ・成績不振者への補習および保護者との連携
- ・成績優秀者への奨励や表彰
- ・授業アンケートの実施
- ・就学機会の提供(学内奨学生制度など)
- ほか

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

12人 (100%)	0人 (0%)	12人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 認定こども園、保育園、幼稚園 等			
(就職指導内容) 就職授業、面接指導、履歴書作成指導、マナー指導、身だしなみ指導 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 幼稚園教諭資格、社会福祉主事任用資格 等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任との個別面談、保護者との連携、常勤カウンセラー(臨床心理士)による相談支援 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
こども 保育科	50,000円	600,000円	587,000円	その他納付金は、施設設備費、教材費、実習費など
幼稚園教諭専攻科	50,000円	280,000円	320,000円	本校こども保育科を卒業の場合は入学金免除 その他納付金は、施設設備費、教材費、実習費など
修学支援(任意記載事項)				
入学金・学費について本校独自の免除・支援制度あり				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nicoiku.com - 情報公開 - 学校評価 - 自己評価
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)

<p><基本方針></p> <p>学校関係者評価は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会に報告し意見を聞き、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。</p> <p>また、学科長と学科教員はカリキュラムの原案を作成するにあたり、本委員会での意見を基に専門的かつ実践的な教育課程編成を決定していくものとする。</p> <p><主な評価項目></p> <p>①教育理念・目標 ②学校運営 ③教育活動 ④学修成果 ⑤学生支援 ⑥教育環境 ⑦学生の受入れ募集 ⑧財務 ⑨法令等の遵守 ⑩社会貢献・地域貢献</p> <p><評価委員会の構成></p> <p>次に掲げる区分のいずれかから学校長が委嘱する委員2名以上により構成する。</p> <p>(1) 関連業界等関係者（企業等委員） (2) 卒業生 (3) 教育に関し知見を有する者 (4) その他学校長が必要と認める者</p> <p>なお、委員の任期は1年とし、再任を妨げないものとする。</p>											
<p>学校関係者評価の委員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所属</th> <th>任期</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なでしこ青空保育園</td> <td>R6. 4. 1 ～R7. 3. 31</td> <td>企業等委員</td> </tr> <tr> <td>ほうゆう保育園</td> <td>R6. 4. 1 ～R7. 3. 31</td> <td>企業等委員</td> </tr> </tbody> </table>			所属	任期	種別	なでしこ青空保育園	R6. 4. 1 ～R7. 3. 31	企業等委員	ほうゆう保育園	R6. 4. 1 ～R7. 3. 31	企業等委員
所属	任期	種別									
なでしこ青空保育園	R6. 4. 1 ～R7. 3. 31	企業等委員									
ほうゆう保育園	R6. 4. 1 ～R7. 3. 31	企業等委員									
<p>学校関係者評価結果の公表方法</p> <p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p>											
<p>第三者による学校評価（任意記載事項）</p>											

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)</p> <p>https://nicoiku.com</p>
